

## 国内ネットワーク機器市場シェアを発表

Japan, 2020年6月22日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社 (所在地: 東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長: 竹内正人、Tel代表: 03-3556-4760) は、イーサネットスイッチ、ルーター、企業向け無線LAN機器からなる国内ネットワーク機器市場について2019年のベンダーシェアを発表しました。これによると、シスコシステムズが2019年も51.6%のシェアを獲得し、国内ネットワーク機器市場における同社の強さが浮き彫りになりました。

企業向け市場で見ても、シスコシステムズは50%近いシェアを確保し、製品分野別でも、企業向けイーサネットスイッチ、企業向けルーター、企業向け無線LAN機器のすべての市場でトップシェアを獲得しています。さらに、多くのベンダーがマイナス成長に陥った通信事業者向けネットワーク機器市場でも、同社の成長は傑出しています。第4のMNO ( Mobile Network Operator ) として新規参入した楽天モバイルのネットワーク構築などが通信事業者向けルーターの売上増加に寄与し、同市場で70%近いシェアを獲得しました。

2019年の国内ネットワーク機器市場で注目すべきベンダーは、シスコシステムズ以外にも存在します。ヤマハは、企業の中小規模拠点などに配備されることが多いSOHOルーター市場において、売上額で2桁成長を達成しシェアは50%に迫っています。また、アライドテレシスは、企業向け無線LAN機器市場で上位ベンダーの中では突出した成長でシェアを伸ばしました。同社の無線LANを企業ネットワークの主役の一つに据えた戦略の転換と、その戦略を具現化する無線LANソリューションの拡充が、市場シェアの拡大につながったIDCではみています。さらに、データセンター向けイーサネットスイッチ市場では、アристаネットワークスがシスコシステムズに次ぐベンダーとして盤石な地位を確立しています。

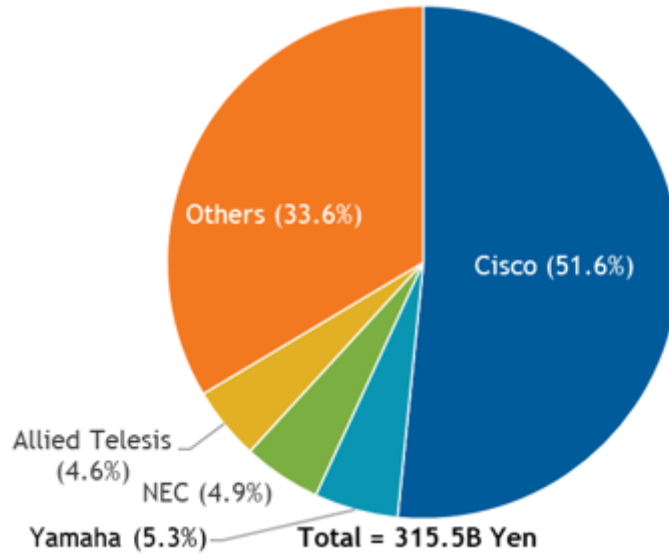
企業ネットワークにおいても、「所有から利用へ」の動きは以前よりも強まっており、マネージドネットワークサービス

の強化を事業者は進めています。  
このような市場環境下において、  
「企業向けネットワーク機器ベン  
ダーは、マネージドネットワーク  
サービス事業者向けビジネスを  
重視する製品戦略への転換を検  
討すべきである。企業のマネー  
ジドサービス志向の高まりに伴っ  
て、ネットワーク機器市場に対す  
る影響力が強まる中で、マネー  
ジドサービス事業者に選ばれる企業  
ネットワークソリューションとは  
何か、といった視点での製品開発  
がこれまで以上に重要になる」と  
IDC Japan コミュニケーションズ  
のグループマネージャーである草  
野 賢一 は述べています。

今回の発表はIDCが発行した国内  
ネットワーク機器市場シェア、  
2019年：高まるマネージドサー  
ビスの影響力 にその詳細が報告  
されています。本調査レポート  
は、2019年の国内ネットワーク  
機器市場に関する市場全体およ  
びユーザーセグメント別ベンダー  
シェアに加えて、製品分野別のベ  
ンダーシェアとベンダー動向を提  
供します。

#### < 参考資料 >

国内ネットワーク機器市場 ベン  
ダー別 支出額シェア実績、2019年  
Figure 1



Note: 企業向けおよび通信事業者向けのルーター、企業向け無線LAN機器、企業向けおよび通信事業者向けのイーサネットスイッチの合計

Source: IDC Japan, 6/2020

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com). All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan  
 jp-press@idcjapan.co.jp  
 +81-3-3556-4768